

景況・経営動向調査結果

平成23年度 第1四半期（4～6月）

目 的

長崎市内の景況及び長崎商工会議所会員事業所の経営動向・業況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

調査対象

本所会員事業所のうち、5産業（建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業）400社
（回答272社、回収率68.0%）

業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

調査期間

平成23年6月1日～28日

調査方法

郵送・E-mailによるアンケート方式

分析方法

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行った

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 従業員20人以下、商業・サービス業 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

業界の景況感

4～6月期実績は、全産業ベースで 51.5〔前回調査比-13.1〕
 7～9月期の見通しは、全産業ベースで 40.2〔今期実績比+11.3〕

業界の景気動向（景況感）の調査結果をみると、製造業・非製造業ともにマイナス幅が拡大し、全産業ベースでは 51.5（前回（3月）調査比-13.1）と大幅に悪化した。

一方7～9月期の見通しは、製造業で15.3ポイント、非製造業でも10.7ポイントの改善が見込まれており、全産業ベースでは 40.2と11.3ポイントの改善見込みとなった。

会員事業所の業況（自社業況の総合判断）

4～6月期実績は、全産業ベースで 44.3〔前回調査比-13.1〕
 7～9月期の見通しは、全産業ベースで 38.5〔今期実績比+5.8〕

売上・生産額	今期実績	41.1 (-12.1)	来期は製造業・非製造業ともに改善見込み
利益・採算面	今期実績	38.5 (-5.0)	来期は製造業・非製造業ともに改善見込み
資金繰り	今期実績	24.5 (-1.8)	来期は製造業・非製造業ともに悪化見込み
設備投資	今期実績	26.9 (-6.1)	来期は製造業で改善、非製造業では悪化見込み
雇用状況	今期実績	3.0 (+1.6)	来期は過剰感が弱まる見込み
経営上の問題点	全産業ベースで9期連続「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップ		

上記括弧内の数字は前回調査比

産業天気図 自社業況の総合判断：前年同期比

	4～6月期 実績		7～9月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 44.3		▲ 38.5
製造業		▲ 47.3		▲ 33.3
非製造業		▲ 43.8		▲ 39.3
建設業		▲ 46.7		▲ 46.7
卸売業		▲ 57.7		▲ 38.5
小売業		▲ 42.7		▲ 39.8
サービス業		▲ 38.7		▲ 34.7
小規模企業等		▲ 46.5		▲ 41.1

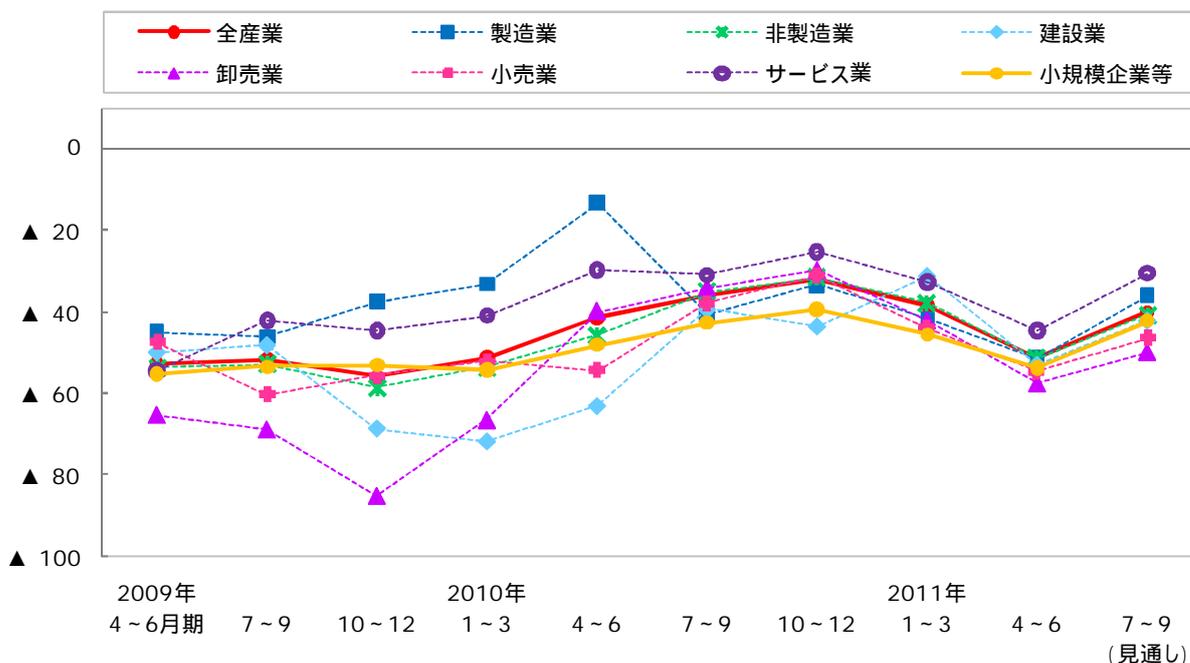
- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上 - 100
	25以上 - 50未満
	0以上 - 25未満
	25以上 - 0未満
	50以上 - 25未満
	100 - 50未満

前年同期（2010年4～6月期）と比較して

2011年4～6月期 実績 全産業 51.5 〔前回調査比-13.1〕	2011年7～9月期 見通し 全産業 40.2 〔今期実績比+11.3〕
業種別にみると製造業で 51.4（同-9.5）と悪化。一方、非製造業でも全ての業種で悪化し、とりわけ建設業（同-21.9）の悪化幅が大きく非製造業全体では 51.5（同-13.6）とマイナス幅が大幅に拡大した。結果、全産業ベースでは2期連続で悪化した。 また、小規模企業等は 53.7（同-8.1）となり、2期続けて悪化した。	製造業で 36.1と今期と比べて15.3ポイントもの大幅な改善が見込まれる一方、非製造業でも全ての業種で改善が見込まれており 40.8と今期実績比10.7ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは11.3ポイントの大幅な改善見込みとなった。 また、小規模企業等は 42.2と今期と比べ11.5ポイントの改善を見込んでいる。

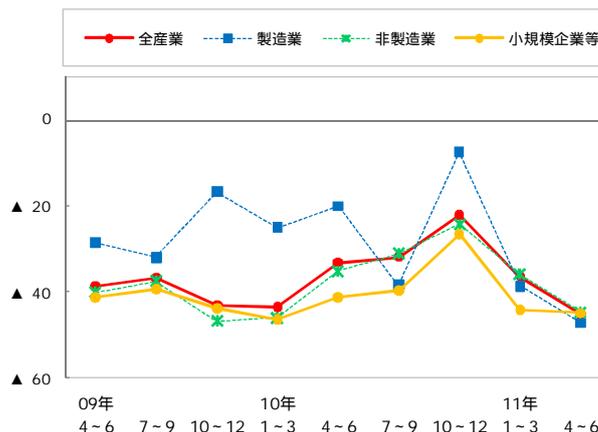
B S I : 「上昇」 - 「低下」



前期（2011年1～3月期）と比較して

2011年4～6月期 実績 全産業 45.1 〔前回調査比-8.7〕
業種別にみると製造業は 47.2（同-8.5）と悪化し過去最低値を更新した。一方、非製造業では小売業（同+1.6）以外の業種で悪化。とりわけ卸売業（同-34.6）の悪化幅が大きく非製造業全体では 44.8（同-8.8）と2期連続で悪化した。 また、小規模企業等は 45.0（同-0.8）となり2期続けて悪化した。

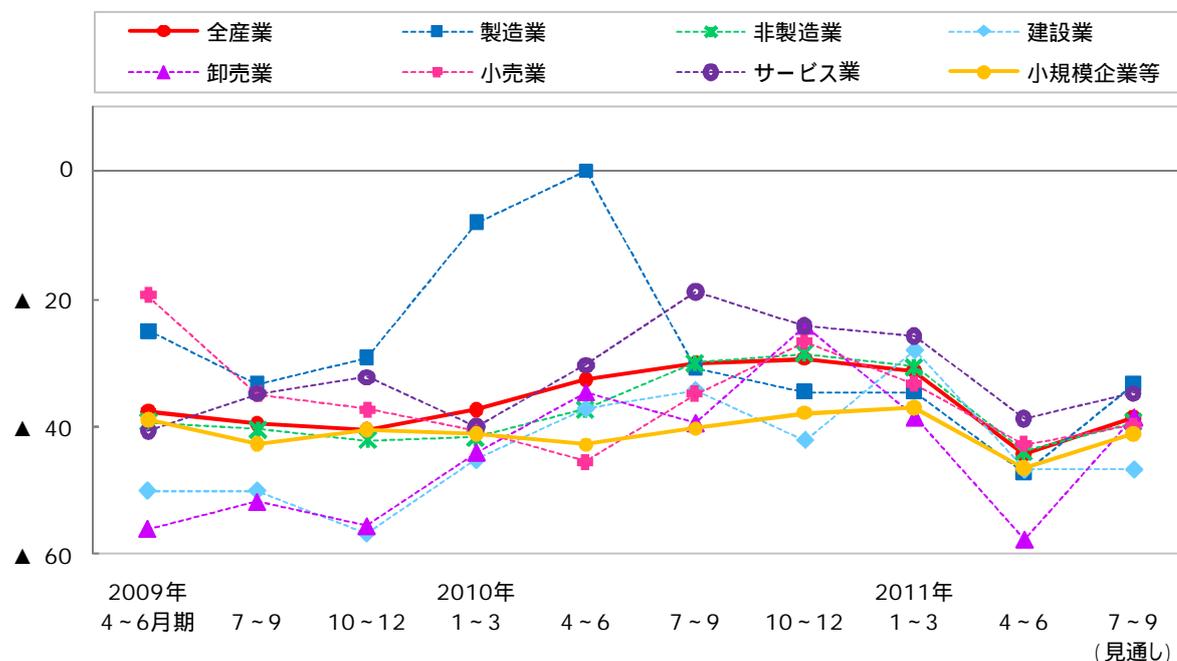
B S I : 「上昇」 - 「低下」



前年同期（2010年4～6月期）と比較して

2011年4～6月期 実績	2011年7～9月期 見通し
全産業 44.3〔前回調査比-13.1〕	全産業 38.5〔今期実績比+5.8〕
業種別にみると製造業は 47.3（同-12.7）と4期続けて悪化した。一方、非製造業でも卸売業（同-19.2）の大幅悪化をはじめ全ての業種で悪化し、43.8（同-13.2）とマイナス幅が拡大した。結果、全産業ベースでは2期連続で悪化した。 また、小規模企業等は 46.5（同-9.6）とマイナス幅が拡大した。	製造業は 33.3と今期と比べて14.0ポイントの大幅な改善が見込まれる。一方、非製造業でも卸売業（同+19.2）で大幅な改善が見込まれ 39.3と4.5ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは5.8ポイントの改善見込みとなった。 また、小規模企業等は 41.1と今期と比べて5.4ポイントの改善を見込んでいる。

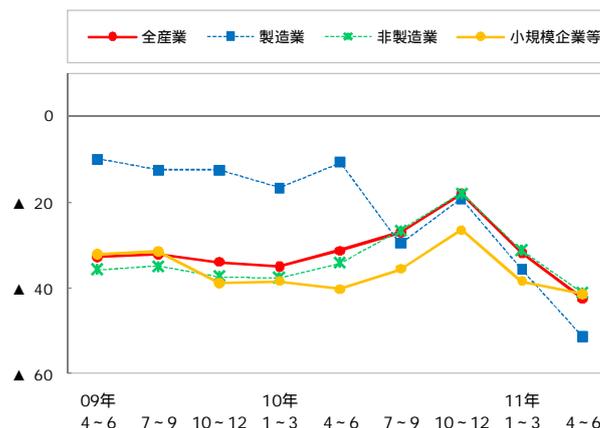
B S I :「上昇」-「低下」



前期（2011年1～3月期）と比較して

2011年4～6月期 実績
全産業 42.5〔前回調査比-10.7〕
業種別にみると製造業は 51.4（同-15.7）と大幅に悪化し過去最低値を大きく更新した。一方、非製造業でも小売業（同+5.6）以外の業種で大幅に悪化し、非製造業全体では 41.2（同-10.0）と2期連続でマイナス幅が拡大した。 また、小規模企業等は 41.4（同-3.0）と2期連続で悪化した。

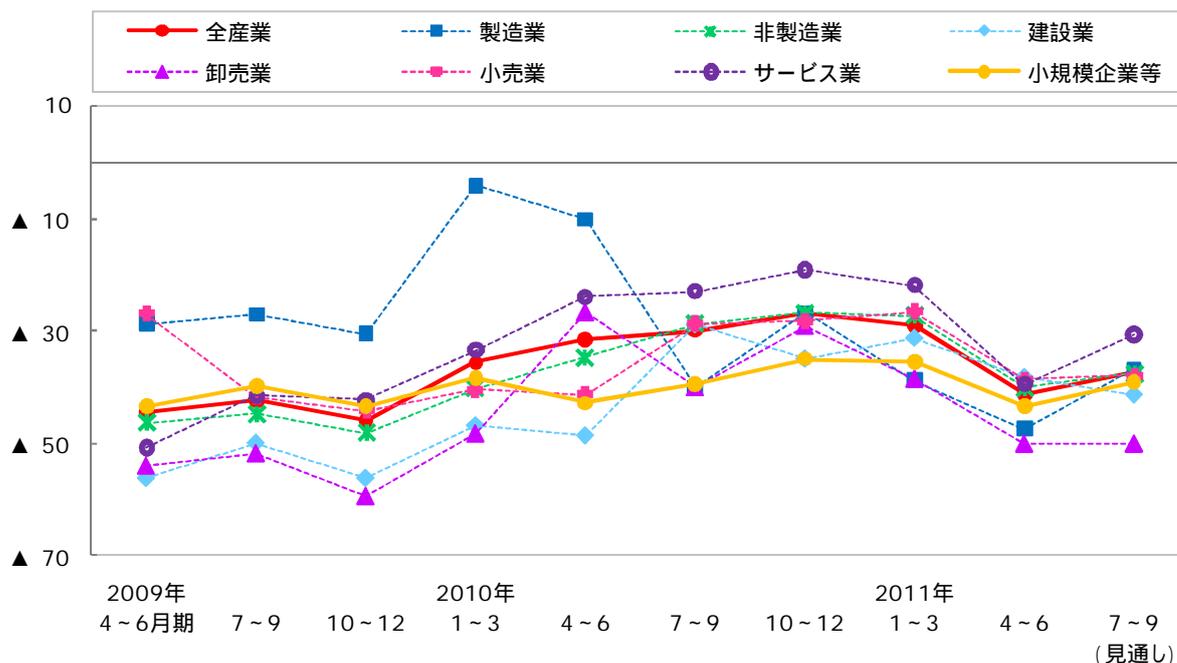
B S I :「上昇」-「低下」



前年同期（2010年4～6月期）と比較して

2011年4～6月期 実績	2011年7～9月期 見通し
全産業 41.1〔前回調査比-12.1〕	全産業 37.4〔今期実績比+3.7〕
業種別にみると製造業は 47.4（同-8.7）と悪化した。一方、非製造業でも全ての業種で悪化し、とりわけサービス業（同-17.7）の悪化幅が大きく非製造業全体では 40.1（同-12.8）とマイナス幅が拡大した。結果、全産業ベースでは2期連続で悪化した。また、小規模企業等は 43.4（同-7.9）となり、2期続けて悪化した。	製造業で 36.8と今期と比べて10.6ポイントの大幅な改善が見込まれる一方、非製造業では建設業（同-3.1）で悪化見込みとなったもののサービス業（同+8.9）では改善が見込まれるなど非製造業全体では 37.5と2.6ポイントの改善見込みとなった。また、小規模企業等は 39.0と今期と比べて4.4ポイントの改善を見込んでいる。

B S I : 「増加」 - 「減少」



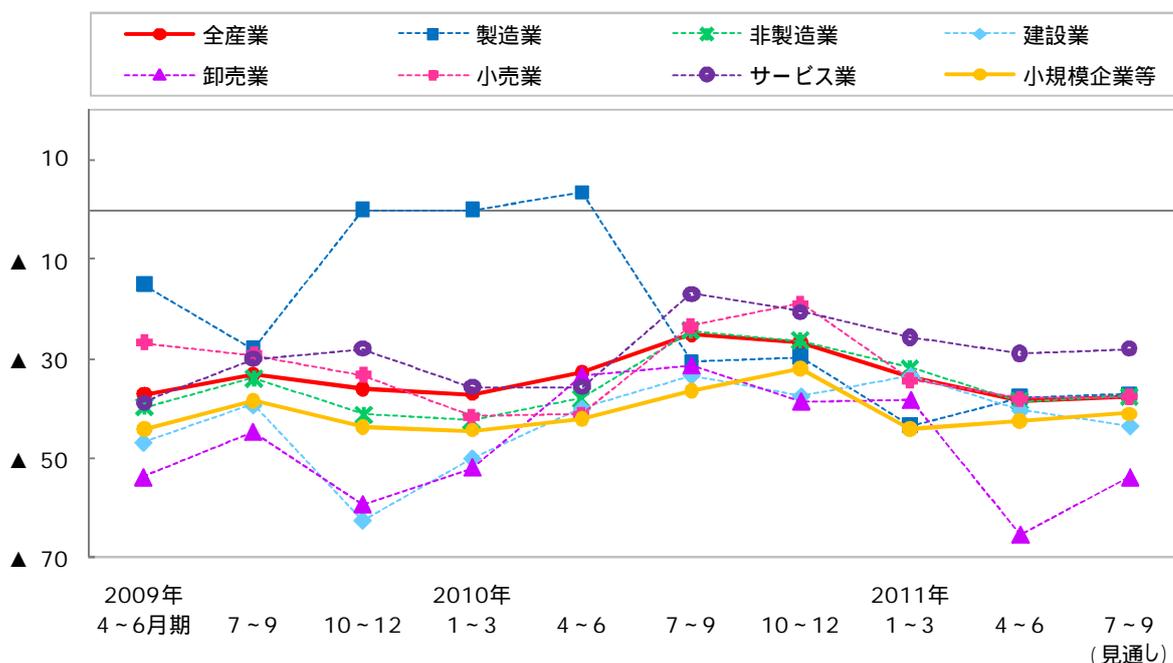
前期（2011年1～3月期）と比較して

2011年4～6月期 実績	B S I : 「増加」 - 「減少」
全産業 43.6〔前回調査比-10.2〕	
業種別にみると製造業は 48.7（同-10.0）と大幅に悪化した。一方、非製造業でも全ての業種で悪化し、 42.8（同-10.2）とマイナス幅が大幅に拡大した。結果、全産業ベースでは2期連続で悪化し過去最低値を更新した。また、小規模企業等は 39.3（同+4.5）とマイナス幅が縮小した。	Line chart showing BSI (Business Sentiment Index) from 2009 to 2011 for various sectors. The Y-axis ranges from 0 to 60 (inverted). The X-axis shows quarters from 09年 4-6 to 11年 4-6.

前年同期（2010年4～6月期）と比較して

2011年4～6月期 実績	2011年7～9月期 見通し
全産業 38.5〔前回調査比-5.0〕	全産業 37.5〔今期実績比+1.0〕
<p>業種別にみると製造業は 37.8（同+5.6）とマイナス幅が縮小した。一方、非製造業では卸売業（同-27.0）で過去最低値を更新するなど全ての業種でマイナス幅が拡大し、非製造業全体では 38.7（同-6.7）と3期連続で悪化した。</p> <p>また、小規模企業等は 42.6（同+1.6）となり前回調査より僅かに改善した。</p>	<p>製造業で 37.1と今期と比べて0.7ポイントの改善が見込まれる一方、非製造業でも建設業（同-3.1）以外の業種で改善が見込まれており、非製造業全体では 37.6と1.1ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは1.0ポイントの改善見込みとなった。</p> <p>また、小規模企業等は 41.1と今期と比べて1.5ポイントの改善を見込んでいる。</p>

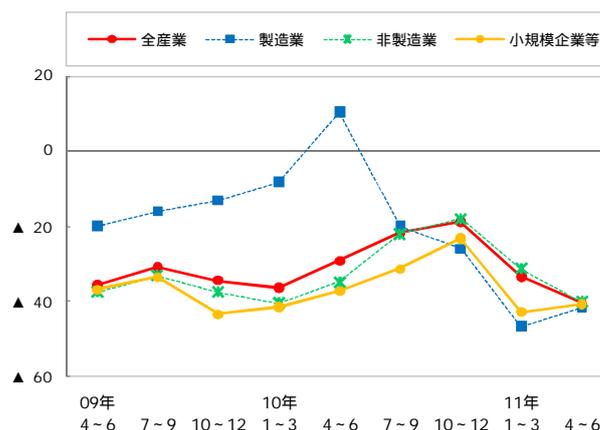
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前期（2011年1～3月期）と比較して

2011年4～6月期 実績
全産業 40.3〔前回調査比-6.9〕
<p>業種別にみると製造業は 41.7（同+5.0）とマイナス幅が縮小した。一方、非製造業では小売業（同+0.1）以外の業種で悪化し、とりわけ卸売業（同-25.4）の悪化幅が大きく、非製造業全体では 40.1（同-8.7）と2期連続で悪化した。</p> <p>また、小規模企業等は 40.8（同+2.0）とマイナス幅が縮小した。</p>

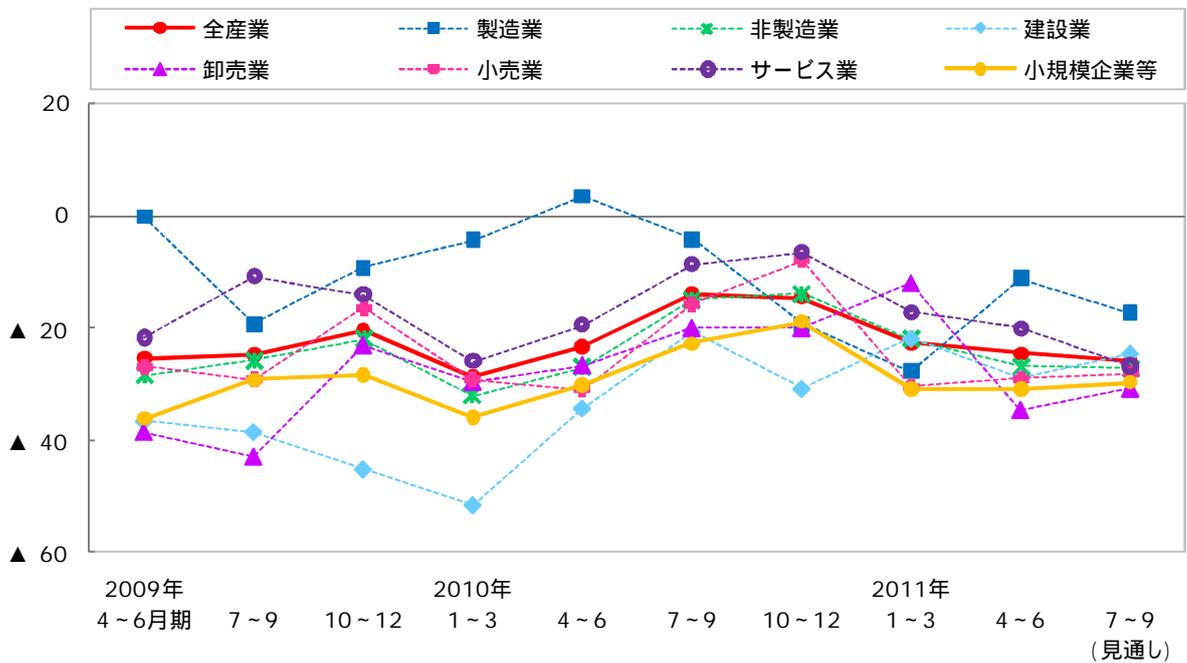
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前年同期（2010年4～6月期）と比較して

2011年4～6月期 実績	2011年7～9月期 見通し
全産業 24.5〔前回調査比-1.8〕	全産業 25.8〔今期実績比-1.3〕
業種別にみると製造業で 11.1（同+16.5）と大幅に改善した。一方、非製造業では小売業（同+1.4）で改善したものの、卸売業（同-22.6）の大幅悪化などから非製造業全体では 26.7（同-4.7）と2期連続でマイナス幅が拡大した。 また、小規模企業等は 30.9（同±0.0）となり前回調査と同水準となった。	製造業は 17.2と今期と比べ6.1ポイントの悪化が見込まれる一方、非製造業ではサービス業（同-6.7）以外の業種で僅かに改善見込みとなったものの非製造業全体では 27.2と0.5ポイントの悪化が見込まれている。 また、小規模企業等は 29.6と今期と比べて1.3ポイントの改善を見込んでいる。

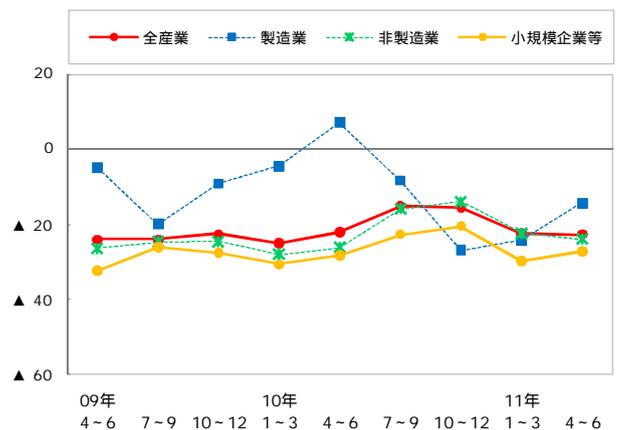
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前期（2011年1～3月期）と比較して

2011年4～6月期 実績
全産業 22.7〔前回調査比-0.2〕
業種別にみると製造業は 14.3（同+9.9）と改善した。一方、非製造業では卸売業（同-26.8）の大幅悪化などから非製造業全体では 24.1（同-1.8）とマイナス幅が拡大した。結果、全産業ベースでは3期連続で悪化した。 また、小規模企業等は 27.3（同+2.4）とマイナス幅が縮小した。

B S I : 「好転」 - 「悪化」

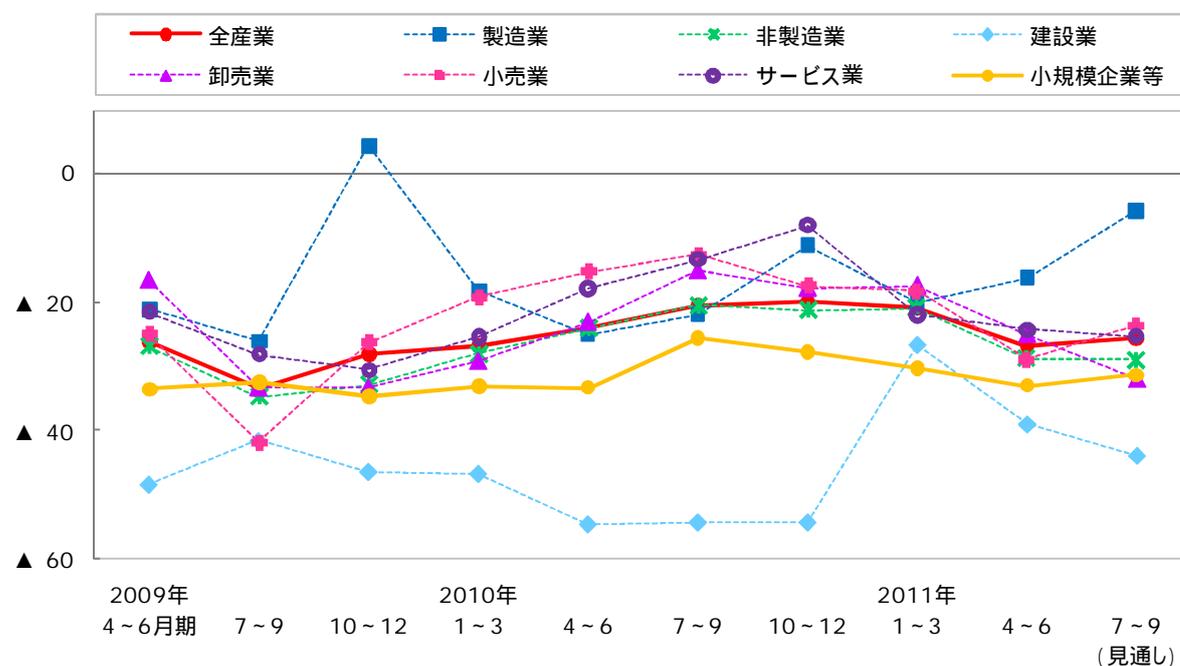


6 設備投資

前年同期（2010年4～6月期）と比較して

2011年4～6月期 実績	2011年7～9月期 見通し
全産業 26.9〔前回調査比-6.1〕	全産業 25.7〔今期実績比+1.2〕
<p>業種別にみると製造業は 16.2（同+3.8）と改善した。一方、非製造業では建設業（同-12.4）をはじめ全ての業種で悪化し、非製造業全体では 28.8（同-7.9）とマイナス幅が拡大した。結果、全産業ベースでは 2期連続で悪化した。</p> <p>また、小規模企業等は 33.0（同-2.6）となり、3期連続で悪化した。</p>	<p>製造業で 5.7と今期と比べて10.5ポイントもの大幅な改善が見込まれる一方、非製造業では小売業（同+5.4）以外の業種で悪化が見込まれており非製造業全体では 29.0と0.2ポイントの悪化見込み。結果、全産業ベースでは1.2ポイントの改善見込み。</p> <p>また、小規模企業等は 31.4と今期と比べて1.6ポイントの改善を見込んでいる。</p>

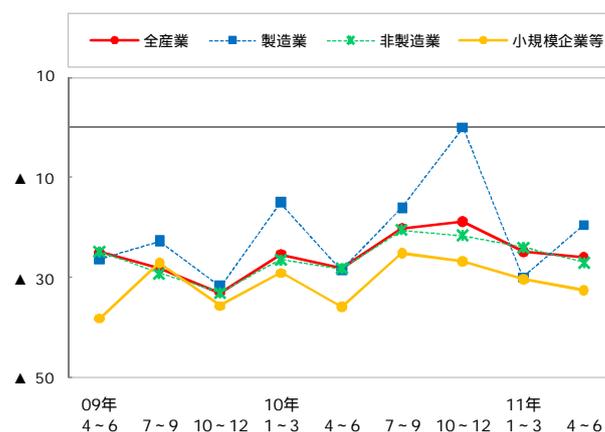
B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2011年1～3月期）と比較して

2011年4～6月期 実績
全産業 25.9〔前回調査比-1.0〕
<p>業種別にみると製造業は 19.5（同+10.5）と大幅に改善した。一方、非製造業ではサービス業（同+4.3）以外の業種で悪化。とりわけ卸売業（同-16.1）の悪化幅が大きく非製造業全体では 27.0（同-3.0）と3期連続で悪化した。</p> <p>また、小規模企業等は 32.6（同-2.2）と3期続けて悪化した。</p>

B S I : 「増加」 - 「減少」

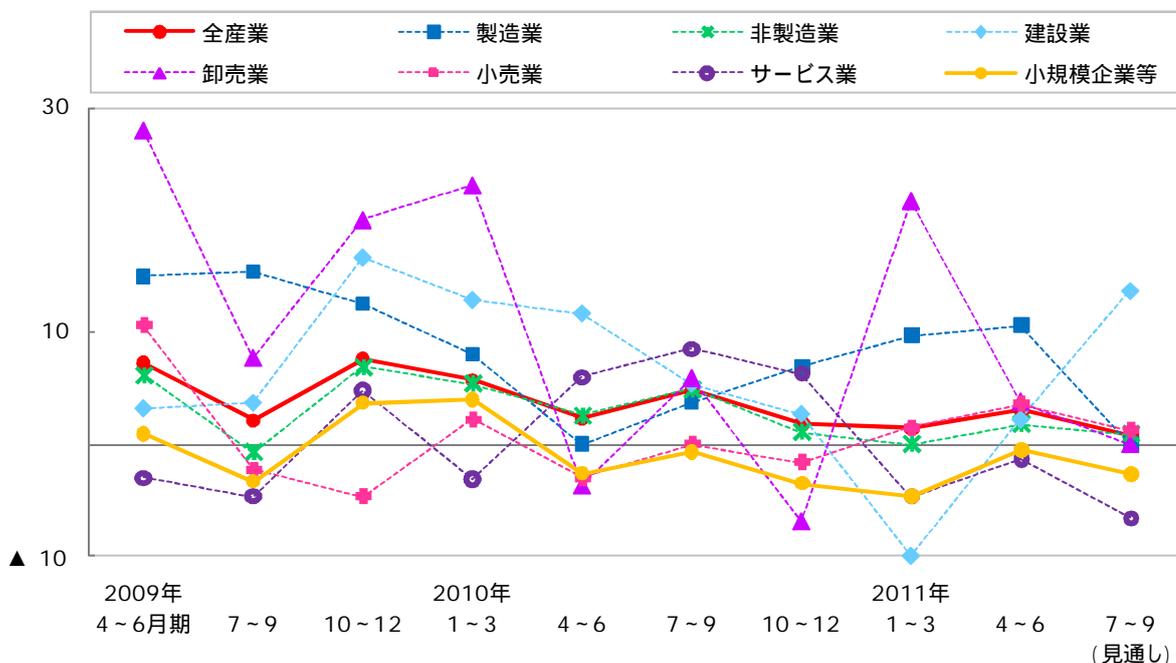


7
雇
用
状
況

前年同期（2010年4～6月期）と比較して

2011年4～6月期 実績	2011年7～9月期 見通し
全産業 3.0〔前回調査比+1.6〕	全産業 0.8〔今期実績比-2.2〕
業種別にみると製造業は10.6（同+0.9）と「過剰」とする割合が増えた。一方、非製造業では卸売業（同-17.9）で「過剰」感が大幅に減ったものの、建設業（同+12.2）でプラス水準（「過剰」超）に転じるなど非製造業全体では「過剰」とする割合が増えた。 また、小規模企業等は 0.5（同+4.1）と「不足」とする割合が減少した。	製造業で0.0と今期と比べて「過剰」とする割合が大幅に減る見込み。一方、非製造業では建設業で13.7と過剰感が大きく強まるものの、サービス業では 6.6と不足感が強まるなど非製造業全体では0.9と「過剰」とする割合が減る見込み。 また、小規模企業等では 2.7と「不足」とする割合が増える見通し。

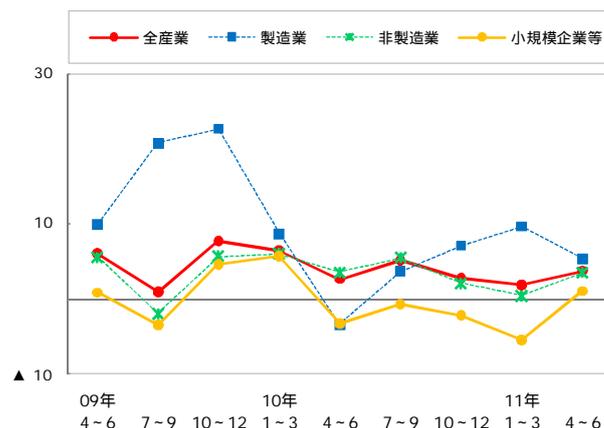
B S I :「過剰」-「不足」



前期（2011年1～3月期）と比較して

2011年4～6月期 実績
全産業 3.8〔前回調査比+1.9〕
業種別にみると製造業で5.4（同-4.3）と「過剰」とする割合が減少した。一方、非製造業では建設業（同+15.7）でプラス水準（「過剰」超）に転じるなど、非製造業全体では 3.5（同+3.0）と「過剰」とする割合が増えた。 また、小規模企業等は 1.1（同+6.5）とプラス水準（「過剰」超）に転じた。

B S I :「過剰」-「不足」

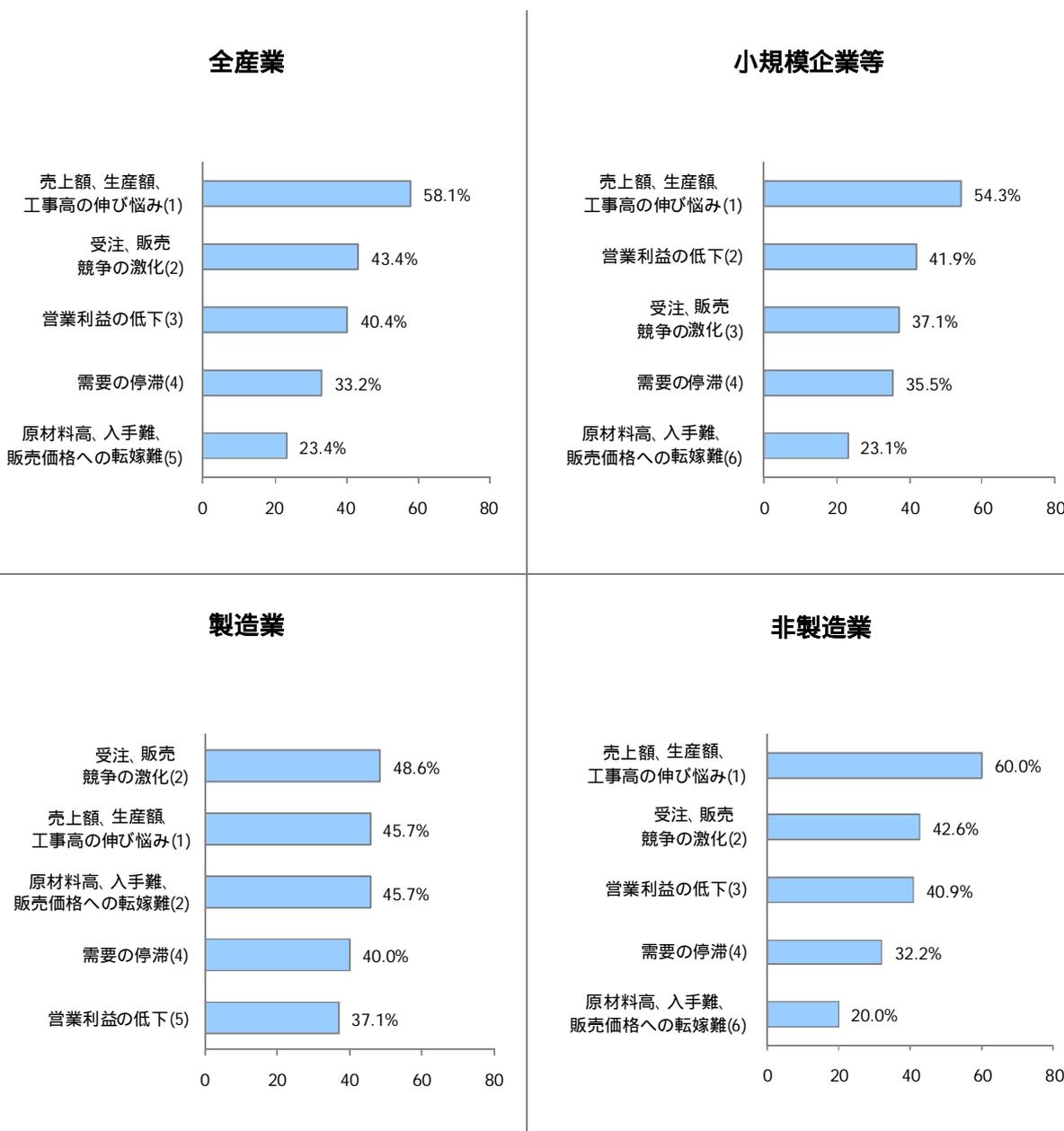


8

経営上の問題点（複数回答）

全産業ベースでみると、トップは前回調査から1.1ポイント減少したものの2009年4～6月期の調査開始以来9期連続で「売上額、生産額、工事高の伸び悩み（58.1%）」となった。ただし、製造業では前回調査より4.3ポイント減少して第2位となり「受注、販売競争の激化（48.6%）」が9.3ポイント上昇してトップとなった。

その他の特徴的な傾向として、東日本大震災の影響もあり「原材料高、入手難、販売価格への転嫁難」が製造業で第2位、非製造業と小規模企業等でも第5位となるなど前回調査より順位を上げた。



各項目の括弧内の数字は前回（3月）調査時の順位